



福祉サービス科

受講生募集



【申込期間】

令和7年8月27日(水) から 10月2日(木)まで

訓練期間	令和7年 10月22日(水) ～ 令和8年 1月26日(月) 3か月(土・日、国民の祝日、12月29日～31日、1月2日及び就職活動日を除く) ※就職活動日は、受講生全員が求職の申し込みをしたハローワークで就職相談を受ける日となります。
訓練時間	午前9時～午後4時 1日6時間
実施会場	福祉の拠点 こみっと 委託先: 藤里町社会福祉協議会 山本郡藤里町藤琴字三ツ谷脇110番1 ※ 無料駐車場完備 【車】能代市街地から車で約40分、北秋田市街地から車で約25分、大館市街地から車で約60分
受講料	無料 ただし、テキスト代(9,350円程度)、損害保険料、検査料等は受講者負担となります。
募集定員	15名 ※応募者が少ないときは、中止になる場合もあります。
応募条件	・ハローワークに求職の申し込みをしている方で、ハローワークからの受講あっせんを受けられる方 ・訓練期間の出席と、訓練終了後直ちに就職が可能な健康状態・環境にある方
選考会	日時: 令和7年10月8日(水) 受付: 8時45分～8時55分(選考会: 午前9時から) 場所: 秋田県立鷹巣技術専門学校(右図参照) 方法: 適性検査、面接 ※筆記用具およびこのリーフレット持参 〈交通のご案内〉 ・電車 JR「鷹ノ巣」駅 または 秋田内陸縦貫鉄道「鷹巣」駅 下車、バスで約15分 ・バス 秋北バス「大館駅前」行き乗車、「鷹巣技術専門学校前」下車、徒歩約5分 

受講希望の方は住所を管轄するハローワークにお申し込みください。

主 催

秋田県立鷹巣技術専門学校

〒018-3301 秋田県北秋田市綴子字街道下191

TEL: 0186-62-1626 FAX: 0186-62-3923

<https://www.pref.akita.jp/pages/genre/takasen>


※諸事情により、訓練期間の変更や訓練を中止する場合があります。

福祉サービス科 カリキュラム

介護職員初任者研修課程・福祉用具専門相談員研修課程

期 間	3か月(358時間)
仕 上 が り 像	介護の業務を遂行する上で最低限の知識や技術及びそれを実践する際のプロセスを習得するとともに、業務に求められるパソコン操作ができる人材の育成を目指す。また、福祉用具専門相談員に必要な知識及び基本技能・技術を習得する。
取 得 目 標 資 格	介護職員初任者研修 福祉用具専門相談員研修修了
就 職 を 想 定 す る 業 種 ・ 職 種	施設介護員、訪問介護員、訪問入浴介護員、生活支援員、福祉用具専門相談員

訓 練 項 目		訓 練 内 容	時間
学 科	職務の理解	・ 多様なサービスの理解 ・ 介護職の仕事内容や働く現場の理解	9
	介護における尊厳の保持・自立支援	・ 人権と尊厳を支える介護 ・ 自立に向けた介護	12
	介護の基本	・ 介護職の役割、専門性と他職種との連携 ・ 介護職の職業倫理 ・ 介護における安全の確保とリスクマネジメント ・ 介護職の安全	9
	介護・福祉サービスの理解と医療との連携	・ 介護保険制度 ・ 医療との連携とリハビリテーション ・ 障害者自立支援制度およびその他制度	12
	介護におけるコミュニケーション技術	・ 介護におけるコミュニケーション ・ 介護におけるチームのコミュニケーション	9
	老化の理解	・ 老化に伴うこころとからだの変化と日常 ・ 高齢者と健康	9
	認知症の理解	・ 認知症を取り巻く状況 ・ 医学的側面からみた認知症の基礎と健康管理 ・ 認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活 ・ 家族への支援	9
	障害の理解	・ 障害の基礎的理解 ・ 障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、関わり支援等の基礎的理解 ・ 家族の心理、かかわり支援の理解	6
	こころとからだのしくみと生活支援技術	・ 基礎知識の学習 ・ 生活支援技術の学習 ・ 生活支援技術演習	78
	振り返り	・ 振り返り ・ 就業への備えと研修終了後における継続的な研修 ・ 修了評価試験（筆記1時間程度）	6
	福祉用具と福祉用具専門相談員の役割	・ 福祉用具の役割 ・ 福祉用具専門相談員の役割と職業倫理	2
	介護保険制度等に関する基礎知識	・ 介護保険制度等の考え方と仕組み ・ 介護サービスにおける視点	4
	高齢者と介護・医療に関する基礎知識	・ からだとこころの理解 ・ リハビリテーション ・ 高齢者の日常生活の理解 ・ 介護技術 ・ 住環境と住宅改修	16
	個別福祉用具に関する知識・技術	・ 福祉用具の特徴 ・ 福祉用具の活用	16
	福祉用具利用の支援	・ 福祉用具供給の仕組み ・ 福祉用具貸与計画等の意義と活用	9
	福祉用具の利用の支援に関する総合演習	・ 福祉用具による支援の手順と福祉用具貸与計画等の作成	5
	振り返り	・ 振り返り ・ 修了評価試験（筆記1時間程度）	2
	就職支援	・ オリエンテーション ・ 応募書類・面接対策の重要性 ・ 福祉総合講座 ・ 就職相談、職業講話 ・ キャリアコンサルティング	45
実 技	介護実習	・ 複数箇所の介護施設実習でのインターシップ	54
	フィードバック学習	・ 介護実習前後のフォローアップ学習、レポート作成、体験談発表等	12
	パソコンの操作	・ ワープロソフトを活用した報告書等の作成実習 ・ 表計算ソフトを活用した各種データ処理実習	34
総 訓 練 時 間			358

※諸事情により、訓練期間の変更や訓練を中止する場合があります。またカリキュラムの時間等は変更になる場合があります。